

弘前 さくらまつり

グラフ特集

さくらも笑顔も満開 春爛漫のアニバーサリー

平成最後、令和最初となった今年の弘前さくらまつり。4月20日～5月6日の17日間に、過去2番目の多さとなる289万人が弘前公園を訪れました。今年は会期中に桜の花が長持ちしたこともあり、公園内の至る所で、毎日刻々と変化する桜のさまざまな表情を楽しむ人でにぎわいました。

■問い合わせ先 観光課 (☎ 35-1128)

5/3^{金祝} 観桜会 記念日

新たな時代の幕開けを提灯（ちょうちん）行列で祝いました。和装や仮装に身を包み、おそろいの提灯を持ちながらのパレードのほか、ステージでのねぶたばやし、弘前中央高校書道部による書道パフォーマンスなどが披露され、先人たちから受け継がれてきた観桜会の歴史に新たな1ページが刻まれました。



英語ボランティア

4/27^土



市内の小・中学校、高校から参加を希望した40人の児童生徒が、英語ボランティアガイドを行いました。

7つのグループに分かれた児童生徒は、市の外国語指導助手（ALT）のサポートを受けながら「May I help you?」と書かれたベストを着て園内を回り、外国人観光客に英語で道案内をしました。始めは戸惑う子もいましたが、慣れてくると会話が弾み、活動が終わる頃には参加者はみんな充実感でいっぱいの表情になっていました。



①色鮮やかな弘前市誕生130周年スペシャルバルーンでまつりの幕開け／②市役所の屋上から眺める絶景／③桜の木漏れ日に包まれて④人力車で園内を散策／⑤和装でお花見／⑥思い出をスマートフォンに／⑦笑顔がほころぶ親子／⑧西濠に映る幻想的なさくら／⑨桜の下でブランコ遊び／⑩まつりを盛り上げる担ぎねぶた／⑪桜ミクと一緒にハイチーズ！